

付録 1 6

食事に関する禁止事項

コーランは、神が明確に禁じていないものを禁止する人々に対して、神が非常に不満を抱いていることを教えています（16:112-116）。コーランに明確に記されていない禁止事項を守めることは、偶像崇拜（シルク）に等しいのです（6:142-152）。そのような禁止は、神以外の別の神を立てることを意味します。もしあなたが神のみを崇拝するならば、神の教えのみを守り、神ご自身が定めた命令と禁止だけを尊重することになります。

食事の禁止がコーランの中でどれほど具体的であるかは、6:145-146 の節によって最もよく示されています。これらの節から分かることは、神が「肉」を禁じるとき、それは肉だけを禁じている。神が「脂肪」を禁じるとき、それは脂肪だけを禁じているということです。この二つの節は、豚について禁じられているのは「肉」であり、「脂肪」ではないことを教えています。明らかに神は、多くの国でラード（豚脂）が焼き菓子などの食品に使われることを知っておられましたが、その使用によってその食品がハラーム（禁止）になるわけではないということです。コーランは、次の四つの肉だけを明確に禁止しています（2:173、5:3、6:142-145、16:112）。

「言いなさい（ムハンマドよ）、『私に啓示されたものの中に、
食べる者が食べるのを禁じられているものは見当たらない。
ただし、(1) 死肉、(2) 流れ出る血、
(3) 豚の肉——それは不浄である——、そして
(4) アッラー以外の名で供えられた不信心なもの、は例外である。』
しかし、意図せず、また法を越えることなく（生き延びるために）
それらを食べることを余儀なくされた者に対しては、
あなたの主は寛容にして慈悲深くあられる。」

（第 6 章 145 節）